

令和7年 / 2025

No.44
野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 吉 玉 典 生

新年明けましておめでとうございます。昨年は、元旦に能登半島で地震そして津波が発生し、甚大な被害が出ました。また翌2日には、救援機と日航機が羽田で衝突するなど、大変な幕開けとなりました。能登半島におかれましては、いまだに避難所生活を送っておられる方々もいらっしゃるようで、一日も早い復旧をお祈りするばかりです。

また、1月の台湾総統選挙に始まった世界での選挙イヤーでは、日本や欧州では少数与党になり、アメリカでは、トランプ前大統領が再選され、不透明感が増している状況となっています。

その様な環境の中ではありますが、野口遵顕彰会におきましては、延岡市内28の小学校の4年生に「のべおか新興の母 野口遵」を1120冊配布、またジュニア科学者の翼では、事前事後の研修を含め、8日間の日程で、厳正な選考会で選ばれた12名を、秋山仁先生の数学体験館、野口研究所、科学技術館、日本科学未来館、そして今年度新たな研修先となった国立科学博物館に派遣しました。その報告会が9月7日に開かれましたが、個人でも、4人一組となつてのグループ発表でも、中学2年生とは思えないほどレベルの高い内容、そしてプレゼンテーションでした。この経験をもとに、それぞれが、興味ある研究を深化させて、科学者として、あるいは技術者としての道を開いていただくことを期待しています。

また8月には、九州医療科学大学と「ジュニア科学スクール」に関する連携協定を締結しました。これにより、中学生への科学に関する体験学習の機会を提供し、理系人材の育成を目指していきたいものです。本事業は、2021年から始めており、すでに中学校7校、65名の中学生に、がん細胞の観察や、アルコールに強い人、弱い人を見分ける体験学習などを、同大学の先生方のご指導により実施してきています。これからは、本事業運営費の約30万円を当顕彰会が負担する、とのことで協定を結びました。この事業が出来るのも、延岡に九州医療科学大学があるからこそこのことであり、同大学のご協力で心から感謝申し上げます。

このほかの各事業も、順調に遂行する事が出来ています。昨年度20周年記念事業として計画していましたが、ノーベル化学賞受賞の吉野様の特別講演会が、時期選択の問題等があり延期されていましたが、本年3月14日に野口遵記念館で、延岡高校など県北の高校により行われる、高校生による「県北地区課題研究発表会」に合わせて行われます。高校生たちにとって、吉野様のお話が、今後の進路等を考えるうえで大いに参考になるものと思います。

本顕彰会は、当初計画した事業を順調に実行できています。これらの事業が遂行できるのも、会員をはじめ多くの関係者の皆様方のご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。今後もより充実した活動を実施する所存でございます。引き続き、ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和7年1月

第10回副読本マンガ版の配付事業

小学生児童向け副読本「のべおか新興の母 野口遵」（B5版マンガ版）を、6～7月にかけて延岡市内の小学校28校の4年生全員に計1,120冊を配付しました。

児童の皆さんが、朝の読書の時間や総合学習の時間などに活用して学習する際に、野口遵翁をよく理解してもらえるようにとの思いを込めて配付しているものです。



【恒富小贈呈セレモニー（6月28日）】



【副読本】

第22回少年少女科学技術派遣研修事業

「第22回ジュニア科学者の翼」派遣事業を、今年も事前、事後の研修を含め8日間の日程で実施しました。県北地区15校の各校長から推薦された25名の生徒の中から厳正な選考会で選ばれた12名は、事前研修でグループ・個人の研修テーマを決め8月20日～23日の行程で野口研究所、秋山仁先生の数学体験館に加え新規の国立科学博物館等の現地研修を行いました。帰延後は、2日間の事後研修で研修結果をまとめ9月7日の報告会でその成果を発表し本事業を無事終了しました。

研修生の成長は言う迄もなく、引率の先生、学校関係者等からすばらしい感想が寄せられ、改めて本事業への期待の大きさを実感しました。

なお、野口研究所より「特に科学に向学心を有する者」に対して授与される『学修奨励金』は、報告会終了後に行われた選考委員会で、延岡中学校の伊藤 芽咲さんに決定いたしました。



【結団式】



【報告会】



【秋山仁先生の数学体験館】

第9回「野口遵翁生誕祭」

延岡市と野口遵顕彰会が共催する「野口遵翁の生誕祭」を7月26日（金）野口遵記念館にて開催致しました。

生誕祭には約100名が参列し、延岡市歌を斉唱した後、野口遵顕彰会吉玉会長、延岡市山本副市長、ご来賓の末次支社長、梶本副議長が順にお祝いの献花を行いました。引き続き主催者挨拶、ご来賓の挨拶が行われました。誕生祭の終わりには、出席者全員が野口遵翁遺影に献花を行いその功績を偲び感謝致しました。

また、7月19日～8月2日までの間、イオン延岡店1階において、『野口遵翁の功績と延岡の発展』をテーマとしたパネル展を開催し、野口遵翁の功績や旭化成と延岡の発展の歩みなどに関する貴重な資料を展示しました。

【野口遵生誕祭式典】



第24回『野口賞』授与事業

宮崎県内を拠点に独自の事業拡大、研究開発、技術開発を行い、顕著な業績を上げた企業や個人などを募集・選考して賞状と賞金を授与しています。今年も例年通り、県内企業、教育機関等（232件）に募集案内を配布しましたが、残念ながら今回は応募がありませんでした。次年度に期待したいと思います。

第5回『ジュニア科学スクール』

1. 身近な微生物を用いた体験学習

中学生の科学への関心を啓発する事業として、令和2年から九州医療科学大学（旧九州保健福祉大学）と連携して、中学生を対象に同大学の施設を活用して体験学習を実施してきました。今年は、3年の実績を踏まえ同大学との関係をさらに強固なものにし、理科教育と科学技術への関心を高め、将来の科学研究を担う若者（延岡市の中学生が対象）を育成する事業を継続する目的で『「ジュニア科学スクール」の実施に関する連携協定書』を締結しました。

協定書締結後の実施に当たっては、同大学と協議を行い、今年度は従来の「身近な微生物を用いた体験学習」を実施する事で合意し、延岡中学校、西階中学校、岡富中学校に説明会を行い募集開始しています。



本年度の予定

- ・ 1月25日(土) 西階中学校(10名)
- ・ 2月22日(土) 延岡中学校(10名)
- ・ 3月8日(土) 岡富中学校(10名)

「ものづくり体験学習」

1. アウトリート活動

本年度の新規事業として、小学高学年の児童の皆さんに「科学に関心を持って楽しみながら学習する機会」を持って頂く事を目的とし、宮崎大学工学部の永岡章准教授(2023年度野口賞「奨励賞」授賞者)をお招きし、「親子で太陽電池教室体験学習」を企画いたしました。

親子で太陽電池教室体験学習の詳細

- ・ 期日：10月5日(土) 9時～15時 ・ 場所：駅前オフィス5階(旭化成ホール)
- ・ 内容：再生可能エネルギーと太陽電池の現状の講義(30分)
ソーラーホッパー(太陽光で動くバッタ) 工作
- ・ 講師：永岡章(宮大工学部准教授) 吉野賢二(宮大工学部教授)
- ・ 助手：宮崎大学生8名 ・ 参加者：午前の部15名、午後の部24名(計39名)



2. 風力発電ものづくり体験学習

小学6年生を対象に、実験や組立てなどを通して科学技術への関心を高め楽しみながら学習する機会として、「ペットボトルを使って風力発電機をつくる」をテーマに各小学校を訪問して実施しています。



今年度の予定

- ・ 12月11日(水)：川島小学校(16名)
- ・ 1月28日(火)：黒岩小学校(3名)
- ・ 2月5日(水)：南小学校(58名)
- ・ 2月6日(木)：南小学校(59名)
- ・ 2月21日(金)：恒富小学校(21名)
- ・ 3月4日(火)：北川小学校(16名)



合計：173名

ジュニア科学者の翼派遣研修生OB会結成準備

青少年科学技術派遣研修生事業『ジュニア科学者の翼』が20回を終了した事を機に、研修の成果とその後の進路や考え方にどう生かされているのかを確認する目的で、研修生から提案のあった「ジュニア科学者の翼の派遣研修生OB会」の結成に向け皆さんの意向を確認の上、本年度末を目途に第一回総会を開催する準備を進めています。

【現状の進捗】

- ・ 9月度設立発起人（10名選考）、会則案作成後意見集約
- ・ 12月28日に第一回設立委員会、
1月25日に第二回設立委員会を行い設立総会（3月目途）に向けて協議を進める。

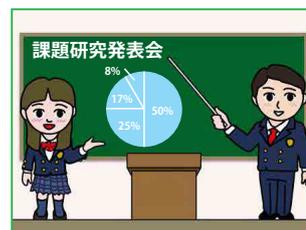


吉野彰さん特別講演事業

県北地区高校が実施する「県北地区課題研究発表会」に合せて、旭化成名誉フェロー、ノーベル化学賞授賞の吉野彰様をお招きし、特別講演と高校生とのパネルディスカッションを下記の日時で開催致します。

- ・ 会場：野口遵記念館（大ホール）
- ・ 期日：令和7年3月14日（金）
- ・ 対象：高校生（延岡高校、星雲高校、日向高校、高千穂高校）
- ・ 時間：9時30分受付開始
- ・ 開演：10時から特別講演（テーマ；若者と考える未来）
11時～12時30分（高校生とのパネルディスカッション）

なお、詳細は、延岡高校村社校長、SSH上富担当教諭と協議しています。



（新規事業）「起業アイデアコンクール」

国（経産省、中小企業庁）が全国の高校生を対象に起業機運を醸成する目的で毎年コンテストを開催しています。また、日本政策金融公庫でも「高校生ビジネスプラングランプリ」を開催しています。この登竜門としての位置づけで本事業を計画しました。

考え方については、No. 41 顕彰会だよりで紹介しておりましたが、類似の事業を行っている各団体から情報収集を行い検討を重ねて参りましたが、本事業が当委員会の規模と乖離があるため、会長に相談の上、事業化しないことを申し合わせました。

ホームページアドレス変更のお知らせ

このほど、「野口記念館」は、100周年を期して「野口遵記念館」としてリニューアル致しましたので、ホームページのアドレスを変更しました。新しいアドレスは以下のとおりです。

事業の実施状況や冊子「のべおか新興の母 野口遵」の全文などを掲載しています。どうぞアクセスしてみてください。

<ホームページアドレス> <https://ability-gate.heteml.net/noguti-h-a>



【新「野口遵記念館写真」
(写真：野口遵記念館提供)】

ご意見・ご提案について(お願い)

野口顕彰会活動や取組み事業に対するご意見・ご提案をお聞かせください。事業計画や活動に生かしていきたいと思えます。下記事務局までお電話、あるいはFAXにてお気軽にお寄せください。よろしく願いいたします。



「賛助会員」募集について(お願い)

野口遵顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご入会をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 ; (個人) 1口 1,000円/年間

※1口以上何口でも結構です。

ご入会を希望される方は、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0053

宮崎県延岡市幸町1丁目101番地

延岡駅西口街区ビル3階 延岡商工会議所内

TEL (0982) 33-6666

FAX (0982) 33-6682

担当者：延岡商工会議所 総務課 湯地 晃大



野口遵顕彰会 椎葉 和博

電話；080-5794-7182

E-mail；k.shiiba8000441@gmail.com